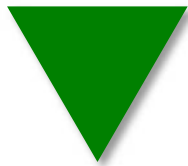
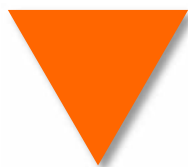


とろうの
2024



塔野校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

目配り気配り
支え合いのまち塔野



2028

ごあいさつ

平素より塔野校区の福祉活動におきまして、ご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

塔野校区社会福祉協議会は平成7年8月に設立し、「目配り気配り 支え合いのまち塔野」を基本理念として、みんなで考え、話し合い、協力しながら、地域が抱える様々な福祉問題を解決していく取り組みを進めてまいりました。

塔野校区の高齢化率は37%と、八幡西区の30.3%を大きく上回り、北九州市の中においても上位をしめるほどの高齢化が進んでいます。

当校区社協には現在75名の福祉協力員がいて、一人暮らし年長者等の見守り活動を行い、地域で安心して暮らせるよう役立つ情報を知らせたり、困っていることを手伝ったりなど、地域には欠かせない大切な存在になっています。

また、当校区社協には4つの支部があり、支部単位で連絡調整会議を行い、高齢者の情報を共有しています。

今年度から「小地域福祉活動計画」を策定するにあたり策定委員会を設置し、八幡西区社協の指導のもと地域の関係機関、団体等から貴重な意見を頂きながら地域の福祉課題について協議を重ねて参りました。

これからも校区の様々な課題を解決するために、現在実施している活動も活かしながら進めて参りたいと思います。

この計画を達成するために、策定委員をはじめ関係者の皆様の多大なお力添えを今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和6(2024)年3月



塔野校区社会福祉協議会
会長 田中 陽子

もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 塔野校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、塔野校区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、塔野校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 塔野校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和 6(2024)年度～令和 10(2028)年度までの5ヵ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

塔野校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、塔野校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、塔野校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 塔野校区の現状と課題

1 地域の特性

	平成 15(2003)年	平成 25(2013)年	令和 5 年(2023)年
世帯数	2,927 世帯	3,548 世帯	3,584 世帯
人口	7,155 人	7,795 人	7,332 人
14 歳以下	843 人 (11.8%)	916 人 (11.8%)	964 人 (13.1%)
15 歳～64 歳	4,264 人 (59.6%)	4,192 人 (53.8%)	3,656 人 (49.9%)
65 歳以上	2,050 人 (28.7%)	2,687 人 (34.5%)	2,712 人 (37.0%)
市民センター	塔野市民センター	小 学 校	塔野小学校
地域包括支援センター	八幡西 5	中 学 校	沖田中学校

※個人情報保護の観点から世帯数が3以下の町丁字については年齢別人口が公開されていないため、人口と年齢別人口の合計に誤差が生じています。

塔野校区は、八幡西区の中央から南西部に位置し、校区の南西側は中間市に隣接しています。東側に金山川が流れ、整備された川べりはウォーキングコースになっています。丘陵地帯であり、起伏の激しい地形で坂道が多く、近年は買い物や通院などの移動手段に困っている、などの声が多く聞かれます。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●新たな活動者や応援者を増やしたい

活動者や役員が高齢化してきており、メンバーも固定化されつつあります。見守り活動や様々な地域行事を継続していくためにも、新たな担い手や活動を応援してくれる人を増やしたいです。

●子どもを対象にした行事が少ない

塔野校区ではまち協や自治区会、市民センターなどと協働してたくさんの行事を行っていますが、子どもたちが中心となる行事が少ないです。子どもやその親に地域に興味を持ってもらえるような行事を行いたいです。

●買い物に困っている人が多い

校区内にはスーパーや飲食店等の商業施設が少なく、公共交通機関が通っていないエリアや坂道が多いので、日常生活に欠かせない買い物や通院などの外出に困っている、などの声が多く聞かれます。



第3章 計画体系

塔野校区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、取り組みを定めました。

1 基本理念

「目配り気配り 支え合いのまち塔野」

2 基本目標

(1) みんなで地域づくりに参加しよう

子どもから高齢者まで、誰もが参加したいと思えるような行事を行います。また、参加者の中に活動に興味を持ってくれる方がいれば、地域活動の新たな人材（仲間）の発掘につなげていきます。

(2) 子どもたちを地域 みんなで育もう

子どもを中心とした活動や行事、ウェルクラブ活動などを充実させます。また、子どもが安心して地域で過ごせるように、引き続き生活安全パトロールや見守り活動を続けます。

(3) 思いやりの心で支え合おう

支援する側・される側といった垣根をなくした、誰もが気軽に参加できるようなサロン活動を引き続き行っていきます。また、買い物支援を実現させるため、関係機関・団体と連携しながら重点的に取り組みたいと思います。

(4) 安心して住みやすいまちにしよう

災害が発生しても地域で対応できるように、避難訓練の実施や防災マップを作成します。平時から備え、活動者間や関係機関・団体との連携を強化します。



3 実施項目（体系図）

基本理念 目配り気配り 支え合いのまち塔野	基本目標	主な取り組み
	地域づくりに参加しよう みんなで	重 地域活動の新しい仲間を増やそう ・金山川清掃（自、老） ・盆踊り（ま、自、社） ・ふれ愛フェスタ（ま、社、自） ・スポーツ大会（Gゴルフ、ソフトバレー、卓球、ペタンク）（ま、自） ・イベント内容の見直し（全） ・花壇整備（ま） ・どんど焼き（ま、自） ・バリアフリー事業（社） ・市民センター活動（クラブ活動、健康づくり、ほっと塾等） 【あったらいいなと思う取り組み】 ・行政OBの地域参加（全） ・企業の自治会、社会参加、PR（行、自） ・自治区会、社協の活動紹介（自、社）
	地域のみんなを 子どもたちを で育もう	・祇園太鼓保存会（神） ・ウェルクラブ活動の充実（社） ・あいさつ運動（全） ・ありんこ学童（行） ・生活安全パトロール（ま、自） ・子どもの見守り（自、小） 【あったらいいなと思う取り組み】 ・子どもとの遊び、行事（全） ・子どもが楽しめる自治区会活動（自） ・子ども会の復活（自）
	思いやりの心で 支え合おう	重 買い物支援を実現させよう ・社協、自治区会のおたすけ隊発足（全） ・近所の見守り（全） ・サロン活動 （ひまわり会、とうのサロンひふみ、雅の会、小春日和）（社） ・長寿を祝う会（自） ・一人暮らし年長者交歓会（社） ・公園愛護会（ま、自、老） ・一人暮らしを見守る会（社） ・買い物支援（社、自） ・サロン活動の内容の充実（社） ・ふれあい昼食交流会（ま） ・もの忘れ予防（社） ・のぞみの会（社） 【あったらいいなと思う取り組み】 ・移動販売車誘致（社） ・あいのりタクシー（自） ・単身世帯サポート（社） ・高齢者の健康器具が欲しい（全）
	安心して 住みやすい まちにしよう	・ゴミステーション設備の見直し（自） ・福祉救援体制（社） ・歳末パトロール（ま、自） ・防災マップの作成（自） ・避難訓練の実施（自） 【あったらいいなと思う取り組み】 ・災害時のマニュアルが欲しい（行、自）

重 とは、「重点実施項目」のことです。今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業です。

【凡例】

（社）…塔野校区社会福祉協議会
 （ま）…塔野まちづくり協議会
 （自）…塔野・春日台自治区会
 （老）…老人会 （小）…塔野小学校
 （全）…塔野校区全ての団体
 （神）…神社 （行）…行政

4 重点実施項目

重点実施項目		地域活動の新しい仲間を増やそう					
1 課題背景及び地域の現状							
<p>若い世代や転入者で町内会に加入していない人が増えてきています。広報紙では校区の行事を紹介していますが、未加入世帯に情報を届けることが難しくなっています。若い世代にも地域活動に興味を持ってもらい、参加して欲しいと思っています。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>様々な世代へ地域の情報を発信できるように、広報活動を強化していきます。また、ウェルクラブ活動を充実させ、親子で地域に興味を持ってもらえるように取組めます。</p> <p>将来的には地域活動ポイント制度を活用し、町内会加入へつなげていきます。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
広報活動の強化	まち協 自治区会 (町内会) 市民センター	→					<ul style="list-style-type: none"> ・自治区会未加入世帯にも周知できるような活動 ・HPとSNSをリンクさせる
活動者向けの勉強会	区・市社協 市民センター	→					
ウェルクラブ活動の充実	小学校 学童クラブ (ありんこ) 市民センター	→					・親子参加型を取り入れる
親子が楽しめる交流の場づくり	まち協 自治区会 (町内会) 市民センター	→					・縁日、スポーツ大会など
災害時のマニュアル作成	まち協 自治区会 (町内会) 行政	→					・関係団体の役割の明確化
地域活動ポイント制度の創設	自治区会 (町内会) 市民センター					→	・自治区会(町内会)への拡大につなげる

重点実施項目		買い物支援を実現させよう					
1 課題背景及び地域の現状							
<p>高齢者世帯の増加に伴い、買い物支援を望む声が多くありました。そのため、令和4年度には、買い物支援の体制づくりに向けた「買い物支援アンケート」調査を行うなど取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により暗礁に乗り上げています。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>「買い物支援アンケート」を活かして、塔野校区の地域性に合った買い物支援体制づくりに取り組みます。そのために、様々な関係機関・団体と連携していきます。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R6	R7	R8	R9	R10	備考
支援を必要としている人の把握	まち協 自治区会 (町内会) 市民センター	→		→		→	・アンケート調査 (R4 実施済み)の 活用
企業への働きかけ	地域企業 行政	→					・スーパーやタクシー 会社などと連携 ・協力できる商店の 募集
他校(地)区社協への視察	区・市社協	→					
あいのりタクシーでの支援	地域企業 行政 自治区会 (町内会)	→					・リスト・チラシの作成・ 活用
買い物サポーターの検討・募集	まち協 自治区会 (町内会) 市民センター			→			
出張販売の拡大	地域企業			→			

第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた校区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、塔野校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

塔野校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料 【塔野校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 塔野校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	田中 陽子	塔野校区社会福祉協議会	会長 事務局長	
2	古賀 敏幸	塔野校区社会福祉協議会	顧問	
3	伊藤 一宏	塔野校区社会福祉協議会	副会長	
		塔野地区民生委員児童委員協議会	会長	
4	桑園 英俊	塔野校区社会福祉協議会	副会長	
		桑の実工房	理事長	
5	末松 由美	塔野校区社会福祉協議会	会計	
		塔野地区民生委員児童委員協議会	副会長	
6	阪 千鶴子	塔野校区社会福祉協議会	大平台支部長	「ひまわり会」 サロン代表
		塔野地区民生委員児童委員協議会	委員	
7	鈴木 敏子	塔野校区社会福祉協議会	下上津役支部長	「雅の会」 サロン代表
		塔野地区民生委員児童委員協議会	会計	
8	日比 文江	塔野校区社会福祉協議会	塔野支部長	
9	三嶋 和敏	塔野校区社会福祉協議会	春日台支部長	
		春日台自治区会	区会長	
10	有本 好男	塔野校区社会福祉協議会	理事	
		塔野まちづくり協議会	会長	
11	梅原 直人	塔野校区社会福祉協議会	理事	
		塔野自治区会	区会長	
12	村上 俊彦	塔野校区社会福祉協議会	春日台副支部長	「小春日和」 サロン代表
		塔野地区民生委員児童委員協議会	委員	
13	横大路 茂光	塔野校区社会福祉協議会	監事	
		塔野自治区会	会計	
14	森本 理恵	塔野校区社会福祉協議会	理事	
		塔野市民センター	館長	
15	原田 照男	塔野校区社会福祉協議会	理事	「塔野サロンひふみ」サロン代表
16	藤田 宜久	塔野校区社会福祉協議会	理事	
		介護老人福祉施設サンライズ北九州	施設長	

(令和6年3月31日現在)

2 塔野校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R5年10月6日(金)	第1回策定委員会 ・地域の良い所と課題、既存の活動とあったらいいなと思う活動の洗い出し共有
2	R5年11月13日(月)	第2回策定委員会 ・地域課題と対応する既存活動を体系的に整理 ・基本理念の決定
3	R6年1月16日(火)	第3回策定委員会 ・重点実施項目の選定と年次計画について検討
4	R6年3月4日(月)	第4回策定委員会 ・計画書及び概要版の構成、編集と最終確認



社会福祉協議会のイメージキャラクター
プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ: ちっちゃな)
Volunteer (ボランティア)
Saurus (サウルス≡恐竜)



塔野校区社会福祉協議会

〒807-0085 北九州市八幡西区塔野 1-3-2 塔野市民センター内
TEL 093-612-6308 FAX 093-612-6309

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351